

**政策目標4. 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち
施策目標**

- 1. 環境適合型社会の実現**
- 2. 水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生**
- 3. 良質な都市空間の整備**

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適型社会の実現	主要施策	地球環境を大切にすま	評価部局	市民自治部	関連部局	総務部	都市交通部
施策コード	4111	施策名	地球温暖化対策							

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	地球温暖化対策のため「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」及び「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に規定されている目標を達成します	施策の方向性	成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
目的	平成28年度 目指すべき姿	地球温暖化対策のため「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」及び「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に規定されている目標を達成します	① 温室効果ガスの総排出量 (t-CO2)	↓	市の施設から排出される温室効果ガスの総排出量(伊丹市地球温暖化対策推進実行計画) ※国の地球温暖化対策計画の策定に合わせ数値を定めるため未定	目標						
				実績								
				② エネルギー使用に係る原単位※の基準年度比(%)	↓	エネルギー消費原単位:エネルギー使用量を、エネルギー使用量と密接な関係を持つ値(延べ床面積、利用者数など)で除したもの(省エネ法) ※H21を基準年度とし、目標を設定	目標		94	93	92	91
						実績	-					
						目標						
						実績						

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
手 段	411101	環境マネジメントシステム事業	1.伊丹市環境基本計画の進行管理 2.市の事務事業に伴う環境負荷の低減 3.市民、事業者、行政の協働による市政の透明性向上及び環境に関する取り組みの面的展開	・伊丹市独自の環境マネジメントシステムの構築運用 ・環境負荷低減への取り組み ・「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」及び「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に規定されている目標を達成するため、省エネルギー対策に取り組む。	伊丹市独自の環境マネジメントシステムを活用し、 ・市の事務事業に伴う環境に配慮した取り組みを推進する。 ・環境基本計画中間改訂版の使用の合理化に関する法律」に規定されている目標を達成するため、省エネルギー対策に取り組む。	02	785	785	環境マネジメントシステムの目標達成率(%)	1	目標を達成した項目数/監査設定項目数×100	計画	85	100	重点
						01									
	411104	伊丹市地球温暖化対策推進実行計画(事務事業編)策定事業	本計画を策定し、本市の事務事業に関する温室効果ガスの排出削減を行うことにより、地球温暖化防止対策の推進を図る。	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、本市の事務事業に関し、温室効果ガスの排出削減に向けた第3次伊丹市地球温暖化対策推進実行計画を策定する。	公共施設における省エネルギー効果等を把握し、国の地球温暖化対策計画をもとに、本市の温室効果ガス削減目標や取り組み等を掲げた本計画の策定を行う。	02	-	4,000	計画策定の進捗率(%)	=	第3次伊丹市地球温暖化対策推進実行計画策定の進捗率	計画	-	100	新規
						01									
411106	公園灯整備事業(LED化)	公園照明灯を消費電力が少なく、長寿命のLED灯具に転換することにより、CO2排出の低減を図る。	8年間で公園照明灯をLED灯具に転換する。	大鹿ふれあい公園他8公園においてLED灯具の転換を進める。	08	29,150	29,000	LED転換率(%)	=	公園灯のLED灯への転換率	計画	38	50		
					03										
411108	環境基本計画の策定・見直し	・「環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち」の実現。 ・環境の保全と創造に関する長期的な目標及び、施策のあるべき方向性を明確にし、環境施策を総合的かつ計画的に推進する。	環境情勢の変化に対応するため、伊丹市の環境施策の指針となる「伊丹市環境基本計画」の策定や見直しを実施する。	次年度以降実施予定(平成32年度に改定予定)	-	650	-				計画	-	-		
					-										

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	30,585	33,785

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適合型社会の実現	主要施策	地球環境を大切にすまち	評価部局	上下水道局	関連部局	
施策コード	4112	施策名	水循環の再形成						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨時の雨水流出を抑制する。 ・自然サイクルにおける保水と浸透を再生する。 ・治水と水環境に対する関心を高め、市民レベルでの環境対策を推進する。 		成果指標								
		平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
				① 雨水貯留タンク設置戸数(戸)	↑	雨水の流出抑制・貯留水の有効利用に寄与する貯留タンクの設置戸数の累計	目標 211	281	351	421	491	
				② 樋門改良率(%)	→	主要電動樋門33箇所のうち、改良工事が完了した樋門の割合(改良樋門基数/33基×100)	目標 78.8	78.8	81.8	84.8	87.9	
				③								

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
	411201	雨水貯留タンク設置促進事業	雨水貯留タンクによる雨水再資源化を促進することにより、雨水の流出抑制を図る。	雨水貯留タンク設置者を対象として、タンク本体の購入費に対し助成を行う。	市民レベルでの雨水貯留と有効利用への取り組みを推進する。	企業	1,500	1,500	雨水貯留タンク設置戸数(戸)	1	雨水貯留タンクの年間設置戸数	計画	70	70	
	411202	水路管理事業	適正な農業用水の確保に努める。	農業用の利水も兼ねた公共下水道の雨水幹線について、電動樋門等を適切に管理する。	用排水樋門等の機器保守・点検を実施し、設備を適切に管理する。	企業	20,397	19,665	用排水樋門の保守・点検箇所数(回)	=	電動樋門33箇所のうち点検対象樋門の年1回の実施	計画	20	20	
	411203	水路補修事業	水路機能を保全し、安定的なかんがい用水を確保する。	市有水路等(法定外公共物)について、水路底・擁壁のコンクリート補修、除草、水路蓋グレーチング取替え工事等を実施する。	的確に維持補修を実施し、用排水路の流水機能を適切に確保する。	企業	8,000	6,540	維持補修工事実施件数(件)	評価対象外	維持補修工事実施件数	計画	-	-	
	411204	水路改良事業	用排水路の機能を確保すると共に利水環境を保全する。	主要な用水電動樋門(33基)の更新を計画的に実施する。	平成28年度は実施予定なし。	企業	4,500	-	樋門改良率(%)	=	主要電動樋門33箇所のうち、改良工事が完了した樋門の割合(改良樋門基数/33基×100)	計画	-	78.8	
	411205	水路清掃事業(上位施策変更:旧4131・114211を統合)	水路の流水機能を保全し、かんがい用水を確保する。	・計画的又は臨時的な水路清掃を実施する。 ・地域清掃による残土等の収集運搬処分を行う。	適切に水路清掃を実施し、水路の流水機能を確保する。	企業	20,815	18,443	水路清掃の距離(m)	1	高圧洗浄車及び人力により行った水路清掃の距離	計画	46,000	41,000	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	55,212	46,148

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適合型社会の実現	主要施策	地球環境を大切にすまち	評価部局	市民自治部	関連部局	
施策コード	4113	施策名	環境教育・環境学習の推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	子どもから高齢者までが、学校、家庭、職場、地域など、様々な場所において環境に関心をもち、学ぶことができるように、市民参加型の環境活動や講座、観察会など学習機会の創出を推進する。	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 環境教育実施数(件)	↑	環境教育事業の実施件数	目標 11	11	11	11	11	11
	全ての学校で、授業や現地見学等の環境学習が行われるよう情報提供や打合せ会議等を行う。 地域を通じて、環境啓発に係る行事、印刷物の掲示配布・回覧等に触れる機会を設ける。 市民参画による広報・啓発を通じて環境の保全と再生を推進する。	取組維持	② 環境ポスター・標語応募件数(件)	↑	環境ポスター・標語の応募件数	目標 3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
			③			目標					
					実績						

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
411301	生活創造市民事務局事務	・市民団体・企業・行政の環境リサイクル活動を情報紙の紙面を通じて広く市民に紹介。 ・様々な情報提供を行うことで、市民の環境問題に対する意識の向上と、ごみ減量化の啓発を図る。	・リサイクル情報紙「まる」を年2回各4,000部発行し、市内エコショップ、市庁舎内、市関連施設に配置。 ・クリーンランド見学の随行。 ・ごみの減量・再資源化に取り組んでいる店舗や事業所を「ごみ減量化・再資源化推進宣言の店・事業所(エコショップ)」として指定。	・リサイクル情報紙「まる」の配布先の増加 ・クリーンランド見学の幹旋と市民参加の向上	04	719	723	リサイクル情報紙「まる」の年間発行部数(部)	1	発行部数に年間発行回数に乗じた部数	計画	8,000	8,000	
411303	環境ポスター・標語募集事業	・小・中学生を対象に環境問題について考える機会を設ける。 ・環境問題に対する意識の向上を図る。 ・環境に配慮したライフスタイル等の啓発を図る。	小・中学生を対象に環境問題について考え、作成したポスター・標語の作品を募る。	応募数が増えるように、より一層の啓発を行う。	04	112	112	環境ポスター・標語応募件数(件)	1	環境ポスター及び環境標語の応募件数	計画	3,800	3,800	
411304	環境教育・学習事業	市民の環境意識を高め、環境配慮行動につなげる。	身近な暮らしに結びつけた環境教育・啓発を実施する。	・市民団体と協働で育てたゴーヤの苗を市民や公共施設(保育所等)に配布する。 ・イベント等において環境教育・啓発を行い、市民の環境意識を高める。	02	58	58	環境教育実施件数(件)	1	グリーンカーテン・イベント等啓発件数	計画	-	11	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	889	893

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 事業		
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
															計画
	412104	ごみ減量化推進事業	・ごみの減量化・再資源化を推進する。	・びん、ペットボトル、空き缶、プラスチック製容器包装の分別収集及び啓発	・出前講座や啓発用視聴教材の貸出し等により、食品ロスを中心とした、ごみの減量化及び雑多な紙のリサイクル推進について啓発する。 ・次世代への環境学習を通じて、ごみの減量化を図るため、市内小学校4学年を対象とした「ごみのおべんきょう」を推進する。	04	4,102	3,925	分別収集した資源物の量(t)	1	ごみから分別された資源物(びん・ペットボトル・プラ・缶)の収集量	計画	2,357	2,337	重点
	412105	クリーンいたみ推進員活動事業	ごみの正しい出し方の指導・啓発を行い、一般廃棄物の減量とリサイクルを推進する。	・伊丹市ごみ減量等推進員(クリーンいたみ推進員)の設置 ・伊丹市ごみ減量等推進協議会(クリーンいたみ推進協議会)の設置	ごみ減量に関して、雑多な紙・食品ロス等を中心とした推進運動の強化を図る。	04	300	300	役員等に対する計画的な啓発(回)	1	役員・推進員に対する啓発のための会議及び研修会等の回数	計画	10	10	
	412107	生ごみ減量・堆肥化容器購入補助	・補助金を交付することにより、容器の購入及び設置を促進する。 ・一般家庭から排出される生ごみの減量・再資源化を図る。 ・市民のごみ減量・再資源化の意識の高揚を図る。	・生ごみ減量・堆肥化容器を設置する市民に対し補助金を交付。 ・電動式については1世帯1基、コンポスト式・密封式については1世帯2基、その他の容器については1世帯1基まで。 ・購入価格の1/2、20,000円を限度として助成する。 ・密封式と同時にEM菌等を購入する場合、EM菌等についても容器1基につき1袋まで助成の対象とし、限度額の範囲内で購入価格の1/2を助成する。	補助制度を知ってもらう機会を設けるために、イベント時における補助制度のチラシの配布や、堆肥化容器を取り扱い、補助制度を周知してくれる販売店を探す。	04	300	300	生ごみ減量・堆肥化容器助成台数(台)	1	生ごみ処理機の助成台数を指標とする。	計画	21	21	
	412108	再生資源集団回収奨励事業	市内の家庭から排出される再生資源物を集団で回収する自治会等の地域団体に奨励金を交付することにより、ごみの減量化と資源の有効活用を図る。	営利を目的としない「再生資源集団回収団体」に登録している団体が回収した、新聞・雑誌・ダンボール・紙パック・布類・アルミ缶等の再生資源に対して1kg当り4円の奨励金を交付。	新聞の購読者数の減少等に加え、平成28年度からのごみ収集運搬体制の変更に伴い、再生資源集団回収量が大きく減少されることが予想されるが、市の資源回収量も考慮しつつ回収量を維持する。	04	22,585	21,681	集団回収量(t)	1	再生資源物の回収量を指標とする。	計画	6,344	5,391	
	412109	剪定枝葉堆肥化推進事業	・伊丹市環境保全率先行動計画(伊丹市地球温暖化対策推進実行計画)に基づき実施。 ・街路樹の剪定枝葉を堆肥化し、豊中市伊丹市クリーンランドにおける一般廃棄物の焼却量を削減。 ・市民へのごみの減量化・再資源化等、環境に配慮した取り組みとしてPR。	・市が剪定した街路樹をチップ化し、剪定枝葉堆肥化施設で熟成させて堆肥化。 ・堆肥化したチップは、公共施設、公園等で利用。 ・環境イベント等で「土壌改良材」として市民に配布しPR。	豊中市伊丹市クリーンランドでチップ化された剪定枝の堆肥化量を維持し、緑化フェアおよびリサイクルフェア等のイベントにおいて、「土壌改良材」として広く市民に配布する。また、余剰分については公園等で広く利用する。	04	1,356	1,603	剪定枝葉堆肥化量(t)	1	剪定枝葉堆肥化施設における剪定枝葉を堆肥化した量を指標とする。	計画	76	76	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 事業	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27		H28
412110	ごみステーション改良事業	・歩行者等の通行の妨げに なっているようなステーションに 対して、簡易な方法により改善 可能なステーションの改善を行 う ・まちの美化推進	・道路側溝の蓋がけ等に限り実 施する ・撤去時解体工事が必要な規 模のステーションについては不 実施の判断を行う	市街化が進み、新たなごみス テーションの確保が困難なた め、年次計画で実施。	04	1,072	1,072	改善箇所数(箇所)	1	ごみステーションの改善 箇所数	計画	15	15	
					01									
412112	ごみステーションカラス等 対策推進事業	市民から寄せられているカラス 被害について、広く市民の意見 を聞き、市民と行政が一体とな りカラス対策に取り組む。	・カラス対策ガイドブックを活用 し、ごみステーションにおけるカ ラスの被害を防止する。	カラス等被害の防止や対策を 広く啓発する他、被害報告の あった要対策地域に効果的な 対策手法を提案しながら地域 協働での取り組みを行う。	04	3,242	4,025	出前講座等、啓発活動 の回数(回)		ごみの減量や分け方・出 し方に関する出前講座を はじめ、クリーンいたみ推 進員等の会議を通じて、 カラス等被害の防止や対 策について啓発する。	計画	20	20	
					02									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
		34,456

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適合型社会の実現	主要施策	資源循環のまちづくり	評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4122	施策名	廃棄物の適正な処理					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正な処理の啓発を行う。 ・豊中市伊丹市クリーンランドの搬入検査の強化、不法投棄パトロールなどにより、最終処分場の安定的な確保と延命化を目指す。 		成果指標								
		平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
				① 最終処分量(t)	↓	埋立量(伊丹市分)	目標 9,339	8,692	8,454	8,401	8,366	8,290
		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみと資源物の分別の啓発を推進し、最終処分場への搬入量の削減を図る。 ・ごみと資源物の収集運搬事業において、市民の利便性向上や事業の効率化を図る。 		取組維持	② 不法投棄の収集撤去件数(件)	↓	不法投棄の収集撤去件数 (H28年度ごみ収集運搬の見直しに伴い、開始年度は出し違い等の不法投棄発生件数の増加が見込まれるため目標値を修正)	目標 223	267	262	257	252

事務 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
412201	豊中市伊丹市クリーンランド負担金事業	・中間処理施設である豊中市伊丹市クリーンランドの適正な管理を行う。	・豊中市伊丹市クリーンランドの維持管理及び運営のための負担金の支出	施設の適正な維持管理を要請し、コストの削減を図る。	04 02	398,452	324,972	負担金の金額(千円)	評価対象外		計画	398,452	324,972	
412202	し尿処理及び処理施設の効率的運用	環境衛生と水質の保全を図る。	・し尿の収集運搬及び中間処理	・施設の老朽化に伴い、計画的に修繕を行う。	04 02	77,033	69,564	施設維持管理経費(千円)	評価対象外	施設の維持管理に係った経費	計画	58,825	67,069	
412203	塵芥・資源物収集事業	・市民の快適な生活環境を維持する。 ・公衆衛生の向上を図る。	・家庭系廃棄物の収集及び運搬	・家庭から排出された廃棄物及び資源物を適正且つ確実に収集運搬する。 ・H28年度から3か年を契約期間とする収集運搬の全面委託に伴い、委託業者を的確に指揮監督する。	04 02	476,267	529,999	ごみの収集量(t)	評価対象外	ごみを収集した量	計画	31,859	31,584	重点
412204	真空収集システム廃止事業(名称変更前「新収集システム施設維持管理事業」)	・既存施設の適切な代替収集方式の移行により、市民サービスを維持する。	・真空収集システム廃止に向けた代替収集方式の整備	真空収集システムの廃止に向けた地元協議を進め、代替収集方法への移行を図る。	04 02	4,192	3,408	施設維持管理経費(千円)	評価対象外	真空収集システムの維持管理経費	計画	6	-	
412205	環境クリーンセンター車輛更新	・業務を円滑に実施できるように計画的に車輛を更新する。	・車輛の更新について、計画的に実施する	ごみ収集運搬全面委託後の車輛更新計画に基づき、適切に更新する。(平成28年度は実施予定なし)	04 02	-	-	車輛を更新した台数(台)	=	計画的に更新する車輛の台数	計画	-	-	
412206	豊中市伊丹市クリーンランドの施設整備事業(名称変更前「豊中市伊丹市クリーンランドの新施設整備」)	・既存焼却施設の解体等に係る経費を豊中市と伊丹市で負担し、新焼却炉の安定稼働を維持する。	・豊中市伊丹市クリーンランドの既存焼却施設の解体等に係る負担金の支出	既存焼却施設の解体及び跡地の整備について、適切に予算を執行する。	04 02	636,452	446,057	負担金の金額(千円)	評価対象外		計画	636,452	446,057	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	1,592,396	1,374,000

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち		施策目標	環境適型社会の実現	主要施策	生活環境の保全と創造	評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4131	施策名	環境監視体制の充実と発生源対策の推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	工場・自動車・新幹線などから発生する公害に対して、監視する	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
目的	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 水質環境基準達成率(%) 〈生物化学的酸素要求量(BOD)〉	→	達成地点数/測定地点数 (%)	目標	100	100	100	100	100
						実績	100				
			工場や事業所から発生する公害について、原因者への指導等を行うとともに、公害苦情への対応を迅速に行う。	取組維持	② 騒音環境基準達成率(%)	→	達成地点数/測定地点数 (%) (道路・新幹線・一般環境)	目標	100	100	100
	実績	87									
	③ 大気環境基準達成率(%) 〈二酸化窒素(NO2)〉	→			達成日数/有効測定日数 (%) (一般環境大気測定局)	目標	100	100	100	100	100
			実績	100							

手	段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規			
							款	項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27	H28	
手	段	413104	水質汚濁対策事業	市域を流れる河川等の公共用水域の水質の保全を確保	市域を流れる河川等の水質を定期的に調査し、現状把握及び事業場の水質監視	河川の水質を調査し、現状を把握する。	02	01	1,287	1,280	水質環境基準達成率(%) 〈生物化学的酸素要求量(BOD)〉	=	達成地点数/測定地点数 (%)	計画	100	100	
							02	01	1,288	974	騒音環境基準達成率(%)	評価対象外	達成地点数/測定地点数 (%) (道路・新幹線・一般環境)	計画	100	100	
							02	01	2,934	3,121	大気環境基準達成率(%) 〈二酸化窒素(NO2)〉	=	達成日数/有効測定日数 (%) (一般環境大気測定局)	計画	100	100	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	5,509	5,375

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適型社会の実現	主要施策	生活環境の保全と創造	評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4132	施策名	市民・事業者等との協働による環境美化の推進					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ポイ捨ての禁止や地域での美化活動について市民や事業者等とのパートナーシップを確立。 市民や事業者等と協働して環境と暮らしが調和したごみのない美しいまちを目指す。 	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 市内一斉清掃参加人数(人)	↑	市民・事業者等の市内一斉清掃への参加者数	目標 10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	地域毎の環境美化活動の一層の活性化を図る。 たばこばい捨て防止や野良猫の環境衛生対策等市民団体と協働して事業を進める。	重点化	② 地域清掃等支援件数(件)	↑	地域清掃等のごみ収集申込依頼件数	目標 1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		③ 中心市街地のごみ収集量(t)	↓	中心市街地清掃におけるごみの収集量	目標 43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
413201	環境美化衛生推進事業	・快適な生活環境を確保する。	・草刈機の貸出及び噴霧器等による空き地の適正な管理及び巡回指導	苦情等のあったものについて、効率的に指導を行う。	04 01	138	131	空き地の適正化率(%)	=	巡回指導を行った空き地のうち、改善された率	計画	100	100	
413202	ポイ捨て追放啓発事業	ポイ捨て禁止などのマナーを確立し、市民、事業者、行政の三者が一体となって環境美化活動を展開する。	「ごみのない美しく住みよいまちづくり」の実現を目指し、市民のみなさんに環境美化を呼びかける。	中心市街地のごみ収集量やポイ捨てが減少するよう継続して啓発していく。	04 01	177	178	中心市街地のごみ収集量(t)	↓	中心市街地清掃の回収ごみ及び環境美化区域内のごみ箱に捨てられたごみの合計量	計画	73.3	43.3	重点
413203	市内一斉清掃事業	・環境美化推進協議会をはじめ、地域住民などの幅広い市民の参画と協働事業の実践。 ・美しく快適なまちづくりを行う。	・7月の第2日曜日を「環境美化推進の日」とし、市民が住居地付近の清掃活動を実施。 ・環境美化意識の高揚を図る。 ・地域のコミュニティ意識の醸成を図る。	市内一斉清掃から地域清掃への移行を促すが、7月第2日曜日の「環境美化推進の日」の代わりに行う地域清掃も市内一斉清掃とすることで、参加者総数を増やしていき、環境美化意識の高揚を図る。 そのために市内一斉清掃の代わりに地域清掃を行っている自治会にはごみ袋や軍手に加え、市内一斉清掃のみで配布しているタオルも配布することで、市内一斉清掃と地域清掃の差をなくしていく。	04 01	1,767	1,951	市内一斉清掃参加人数(人)	↑	市民・事業者等の市内一斉清掃への参加者数	計画	10,730	10,000	
413204	中心市街地清掃等事業	中心市街地・公衆便所の清掃及び環境美化区域内の清掃	市の表玄関である阪急伊丹駅、JR伊丹駅周辺の市街地(約30ha)に散乱しているごみの収集清掃並びに同区域の公衆トイレ清掃	清掃委託による、中心市街地の美化推進区域の美化維持。	04 01	7,636	7,636	清掃日数(日)	=	中心市街地における清掃作業日数	計画	295	295	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等			H27	H28
413205	地域清掃等支援事業	自治会、地域住民などが自発的に行うことで、参画と協働事業の実践による美しく快適なまちづくりを目指す。	市民自ら住居地付近の清掃活動を実施し、環境美化意識の高揚と地域のコミュニティ意識の醸成を図る。	市内一斉清掃から地域清掃への移行を促す。 そのために市内一斉清掃の代わりに地域清掃を行っている自治会にはごみ袋や軍手に加え、市内一斉清掃のみで配布しているタオルも配布することで、市内一斉清掃と地域清掃の差をなくす。 平成28年度末までに平成28年度の件数を平成27年度よりも増やす。	04	596	860	地域清掃支援件数(件)	1	地域清掃等のごみ収集申込依頼件数	計画	1,207	1,000	
					01									
413206	保健衛生推進連合会事務事業	地域住民の自主的な活動により、保健衛生、環境美化の向上を推進し、市行政と一体となり、健康で明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的とする。 (発足当初は、伝染病の蔓延予防から蚊やハエなど衛生害虫駆除活動など保健衛生についての啓発・実践活動を行った。)	・各自治会から保健衛生推進委員、衛生委員を選出し、自治会長と協力し活動する。 ①ごみの分別方法、出し方の指導・啓発 ②ごみの減量とリサイクル推進のための指導・啓発 ③集団回収・環境美化等の推進 ④不法投棄等の監視・通報 ⑤その他ごみの減量・資源化に係る市の施策への協力	・各自治会から保健衛生推進委員、衛生委員を選出し、自治会長と協力し活動する。 ①ごみの分別方法、出し方の指導・啓発 ②ごみの減量とリサイクル推進のための指導・啓発 ③集団回収・環境美化等の推進 ④不法投棄等の監視・通報 ⑤その他ごみの減量・資源化に係る市の施策への協力 ⑥健康づくりや環境問題を考える各種研修会、講演会などへの参加	04	940	923	保健衛生推進委員数(人数)	=	各自治会から選出されている保健衛生推進委員の人数	計画	211	211	
					01									
413207	不法投棄防止事業	ごみステーションへの排出のルール違反及び道路・水路等における不法投棄の防止と啓発活動を行う。	不法投棄が頻繁な場所に防止看板、プランターの設置を行い、防止及び啓発活動に努める。	・不法投棄が頻繁な場所に防止看板、プランターを設置。 ・不法投棄の防止及び啓発活動を継続して行う。	04	184	218	不法投棄物の収集撤去件数(件)	1	不法投棄物の収集撤去件数を指標とする。	計画	200	267	
					01									
413208	地域猫活動支援事業	・動物に係る地域諸課題を地域住民自らが共同して解決するように導く ・、地域環境美化の推進	野良猫を不妊去勢手術した上で、清掃や忌避剤の対応等の衛生等の見守り活動を行う自治会に対し、必要な組織づくりや事業の実施を委託する。	事業への参画を希望する5自治会に委託し、年度内に野良猫が増えない措置をして地域猫とし、自治会による見守り活動を促すことで、地域の衛生環境の向上を図る。	04	1,184	654	地域猫の数(匹)	1	地域で見守り活動をするとして地域猫の数	計画	66	50	重点
					01									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	12,622	12,551

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	環境適応型社会の実現	主要施策	生活環境の保全と創造	評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4133	施策名	斎場の運営					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	施策の方向性	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)					H32 (最終)
						H26	H28	H29	H30	H31	
目的	平成28年度 目指すべき姿	① 斎場の排ガス・ダイオキシン類の検査項目達成率(%)	→	斎場の排ガス・ダイオキシン類の検査項目達成率	目標	100	100	100	100	100	100
					実績	100					
	適正な斎場設備の維持管理による施設の長寿命化を確保する。 市営墓地空き区画の確保と貸与を進める。	取組維持	② 火葬需要充足率(%)	↑	年間最大火葬件数に対する年間火葬実績件数	目標	83	83	83	83	83
						実績	80.9				
			③	目標							
				実績							

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規				
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28			
												計		実	計	実	
手 段	413301	市営斎場管理運営業務	・死亡者の火葬を安全かつ円滑に支障なく実施。 ・公衆衛生の確保に努める。 ・葬儀施設を貸与し市民サービスの向上を図る。	・火葬 ・葬儀施設の貸与 ・斎場の適正な維持管理	火葬業務及び葬儀施設の貸与	04 01	49,505 49,828	火葬需要充足率(%)	↑	年間最大火葬件数に対する年間火葬実績件数	計画	87.5	83				
手 段	413302	市営墓地維持管理事業	・公有財産である墓地の管理保全 ・墓地の外壁工事や雨水配管などの埋設、修繕などの実施	市営墓地の管理保全	市営墓地等の管理保全 ・空き区画の募集	04 01	3,481 2,528	墓石数	=	墓石数(中野墓園・神津墓地)	計画	1,401	1,401				
手 段	413303	市営斎場火葬施設整備事業	・火葬設備について年次計画に基づき計画的に修繕し、施設を良好に保ち、火葬業務を円滑に進める。	火葬炉の修繕更新を行う。	火葬炉の定期修繕	04 01	4,400 8,964	斎場の排出ガス・ダイオキシン類の検査項目達成率(%)	=	斎場の排出ガス・ダイオキシン類の検査項目達成率	計画	100	100				

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	57,386	61,320

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生	主要施策	公園とみどりの充実	評価部局	市民自治部	関連部局	
施策コード	4211	施策名	魅力ある公園緑地づくり						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の身近な公園は、市民の参画・協働により、地域のニーズに応じた公園再生の取り組みを推進する。 大規模公園は、それぞれの特色を活かした整備・充実を図り、本市を代表する公園としてアピールする。 	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 市民1人あたりの都市公園面積(m ² /人)	↑	都市公園面積÷伊丹市人口	目標 実績	6.04 6.04	6.04 6.04	6.05 6.05	6.05 6.05	6.05 6.05
	<ul style="list-style-type: none"> 十六名公園、北伊丹第2公園において、健康づくり施策と連携し健康遊具を整備する。 昆陽池で工業用水を活用した水質保全に引き続き取り組む。 公園施設の再整備を計画的に実施する。 	取組維持	② 公園のバリアフリー化率(%)	↑	都市公園と児童遊園地におけるバリアフリー化整備率	目標 実績	81 78.8	82 82	83 83	84 84	85 85

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
421101	みどりの基本計画の策定	伊丹市総合計画に掲げる政策目標を推進し、目指すべき市の将来像を実現する。	都市緑地法4条の規定に基づき、市が実施する緑地保全、緑化推進、都市公園整備等に関する総合的な基本計画を策定する。	・「環境基本計画」の中間見直しに対応し、各事業などに見直しを行う。 ・次年度以降に改定の作業を実施する。	-	-	-				計画	-	-	
421102	みどり環境部会<名称変更前「みどり推進会議」>	みどりの基本計画中の「みどりの量から質の向上」へ向けた具体的な取り組みを推進する。	みどりの基本計画に基づき、市民・事業者・市等のあらゆる主体が連携・協働したみどりに関する種々の取り組みを推進するために設置する。	環境審議会及びみどり環境部会において、みどりの基本計画並びに生物多様性いたみ戦略に係る具体的な事業内容の検証・改善を行う。	08 03	260	236	みどり環境部会実施回数(回)	=	みどりの推進に関する取り組みを表す	計画	2	2	
421103	昆陽池の水環境の保全	昆陽池の水質を保全する。	昆陽池の水環境を保全するため、工業用水及び井戸水の導水を行う。	計画的な工業用水及び井戸水等の導水を実施するとともに、定期的な水質調査を実施する。	08 03	33,569	33,565	導入可能水量(m3)	=	水環境の保全のために導入できる総水量(工業用水3000m3/日+井戸水4500m3/日③=7500m3/日)	計画	7,500	7,500	
421104	公園緑地等の整備(整備・リフレッシュ・再配置対応)	公園等利用者の安全・安心の確保と満足度の向上。	施設の老朽化が激しい公園や遊具等を今日の公園利用形態にあわせ、より充実したものとして再整備する。	・老朽化施設の更新のため、北伊丹第2公園において工事を実施する。 ・ウメ輪紋病で梅が伐採された緑ヶ丘公園梅林跡の再整備工事を実施する。	08 03	72,000	133,715	整備・再整備公園数(箇所)	評価対象外	年間に整備・再整備を行った公園の箇所数	計画	2	2	
421105	公園緑地等の整備(健康づくり対応)	・都市公園等の施設の充実を図る。 ・市の健康づくり施策とタイアップし、市民の健康づくりを支援する。	都市公園等における健康遊具ゾーン整備と健康遊具の設置を行う。	十六名公園および北伊丹第2公園において健康遊具の設置を行う。	08 03	22,000	10,386	整備公園数(箇所)	1	都市公園における健康遊具ゾーンの年間整備公園数	計画	5	2	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27		H28
手 段	421106	公園緑地等の維持管理	市内の都市公園及び児童遊園地を適正に管理することにより、安心・安全な憩いの場を市民に提供する。	市内の都市公園及び児童遊園地の施設・樹木等の維持・管理を行う。	計画的に維持管理を実施する。	08	321,924	250,751	解消件数/公園施設の修繕等依頼件数(%)	+	公園施設の維持管理状況を表す	計画	60	60
						03								
	421107	公園管理車両更新	公園の維持管理を適正に行うため耐用年数の経過した車両を購入する。	公園維持管理用車両の更新。	H28年度は本庁の緊急車両を更新する。	08	-	1,231	車両更新台数(台)	=	-	計画	-	1
						03								

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
		449,753

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生	主要施策	公園とみどりの充実	評価部局	市民自治部	関連部局	教育委員会学校教育部
施策コード	4212	施策名	道路・学校園・公共施設等のみどりの充実						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	環境が大切にされ、暮らしやすさと調和したまちの実現を目指す。 ・主として市民活動との協働により、公共のみどりの充実を図る。	成果指標									
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)	
						目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 公園アダプトの団体数(団体)	↑	公園アダプトに取り組んでいる市民団体の取り組み状況を表す 公園アダプト:活動団体と市が役割を分担し、パートナーシップのもと公園緑地における維持管理や緑化、花づくりなどを進める取り組み	目標		5	6	6	7	7	
			実績	5								
・公共スペースにおける緑化の推進と良好な管理 ・公共施設(学校園を含む)・公共用地における植物の適切な育成・管理に関する講習会等の実施 ・公園アダプト活動の継続・発展	取組維持	② 公共用地のみどり率(%)	→	公共施設用地のみどりが維持されている状態を表す。	目標		12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	
			実績	12.7								
		③			目標							
					実績							

手続	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
							H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
	421202	公共施設等のみどりの充実(421201を統合)	みどりを充実させ、みどりへの親近感とやすらぎを提供する。	主要道路における街路樹、河川、水路沿いのみどり、学校園や公共施設等のみどりの充実を図る。	各施設の状況を調査し、具体的なみどりの充実について検討・調整する。	-	0	0	緑化事業実施施設数(施設)	1	公共施設等のみどりの充実への推進状況を表す。	計画	-	25	
	421203	公共施設緑化講習等の実施	公共施設のみどりの充実を図るための人材の育成を行う。	公共施設・公共用地における植物の育成・管理に関する講習会を実施する。	教員講習、ボランティア講習を継続するとともに、「花と緑のまちづくりサポーター」養成講座を新たに開講する。	08	-	232	「花と緑のまちづくりサポーター」養成講座の受講者数(人)	1	公共施設等のみどりの充実を担う人材の育成状況を表す。	計画	-	40	新規

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	-	232

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生	主要施策	公園とみどりの充実	評価部局	市民自治部	関連部局	
施策コード	4213	施策名	市民・事業者による身近なみどりの充実						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	環境が大切にされ、暮らしやすさと調和したまちの実現を目指す。 ・主として、市民・事業者との協働の取り組みを推進し、民有地のみどりを充実する。	成果指標									
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)	
												目標
・コミュニティ花壇及び緑化維持管理協定件数の確保 ・事業者等への緑化指導の継続 ・「伊丹を拓くみどりの会」の活動の継続・充実	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 市民緑化協定件数(緑化維持管理協定+コミュニティ花壇管理運営協定)(件)	↑	緑化維持管理協定+コミュニティ花壇管理運営協定の各年度毎の合計件数、市民の緑化活動の取組状況を表す。	目標	121	122	123	124	125	
						実績	120					
	取組維持	② 民有地のみどり率(%)	→	民有地のみどりが維持されている状態を表す。	目標	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3		
					実績	20.3						
		③ 工場の緑化面積(ha)	→	工場立地法地味準則条例および工場等の緑化に関する規則に基づく、事業者の緑化活動の取組状況を表す。	目標	19.4	19.4	19.4	19.4	20.3		
					実績	19.4						

手 段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規	
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28
	421304	みどりのプラザ管理運営	緑化の啓発、園芸等の振興により、みどり豊かなまちづくりを推進する。	施設の維持管理と緑化推進・啓発事業の実施、園芸等振興イベントの開催等を実施する。	指定管理による施設の適切な管理・運営を継続するとともに、より効果的な事業展開について調整する。	08 03	16,202	16,015	年間入館者数(人)	1	緑化啓発に関心を持つ関心度を表す。	計画	35,000	50,000
	421305	水とみどりの散策道ネットワーク事業(道標・案内板設置など)	緑のスポットを有機的に結合させることにより、広域的・日常的に緑を実感できる環境を創出する。	・市民と協働で道標・案内板等のデザイン、設置場所等を決定する。 ・老朽化した道標等を順次更新する。	・老朽化した道標の更新や新たに必要となった道標の追加設置等について市民団体との協働で適時に実施する。 ・市民団体の実施する行事等に協力する。	08 03	0	0	ネットワークコースを活用したイベントの年間参加者数(数)	1	市民のネットワークコース活用度合いを表す。	計画	360	360
	421306	適切なみどり推進と維持管理の質の向上	市内の公共用地等に草花や樹木を植え、市民参画のもとで花や緑を守り育てることにより、本市を花と緑溢れる街を創出する。	市民等と維持管理に関する協定を締結し、公共用地等におけるみどりの維持管理に必要な草花や活動経費の一部を助成する。	市民緑化協定に基づき、市民団体の緑化活動に対し、活動経費の助成や花苗の提供及び必要に応じて緑化の指導等を行う。	08 03	3,690	3,660	助成金交付を伴う市民緑化協定件数(件)	1	市民の緑化活動の状況を表す。	計画	125	121
	421308	緑化推進事業<421307を統合>	緑化思想の普及啓発や広く市民参加の都市緑化を推進する。	緑化思想の普及や市民参加の都市緑化を推進するための事業を実施する。	みどりの相談事業の内容の見直しを行いつつ、事業を継続する。	08 03	10,600	10,036	みどりの相談事業における講座等の参加者数(人)	1	緑化推進事業に対する市民の関心度を表す。	計画	550	550

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	30,492	29,711

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち		施策目標	水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生		主要施策	自然環境との共生		評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4221	施策名	自然環境との共生と生物多様性の保全と再生								

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性いたみ戦略を策定し、市域に残る貴重種をはじめ多種多様な生き物が生息生育する環境を整備する。 生態系ネットワーク形成に努め、身近な自然環境の保全と再生を図る 		成果指標								
		平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
				① 在来生物の種類数(%) *H26実績を100%とする	↑	生物多様性の保全と再生の状況を表す(昆陽池公園における在来生物(鳥類、蝶類、トンボ類、魚類)の種類数)	目標 100	100	100	103	103	105
				② 生物多様性認知度(%)	↑	市民意識調査結果より生物多様性に対する市民の認知度を表す	目標 23.1	26.5	29.9	33.3	36.7	40.1
			③ 保存樹木・景観重要樹木・緑地保全地区の指定件数の合計(件)	↑	良好な自然環境保全のための取り組み状況を表す。	目標 60	60	61	62	63	63	
			<ul style="list-style-type: none"> 在来生物の種類数の維持と拡大のための環境整備の実施 市内に残る貴重種の生息環境の維持と種の保全に向けた取り組みの検討 自然環境保全地域指定など生態系ネットワークの充実 	取組維持								

事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
422101	生物多様性いたみ戦略策定(改訂)	「環境が大切にされ、暮らしやすさと調和したまち」の実現に向け、自然環境との共生と生物多様性の保全、再生を図る。	市民・事業者・教育機関・行政などあらゆる主体がそれぞれの役割を分担し、連携・協働することで持続可能な生物多様性の保全と再生のための具体的な取り組みを推進する。	改訂作業はH30～H32予定	-	-	-				計画	-	-	
422102	緑地の保全等	市内にある数少ないみどりを「保存樹木」、「景観重要樹木」、「緑地保全地区」として指定し、将来へ残していく。	市内で一定の要件を満たす樹木を管理する市民、一定規模以上の緑地の形態をなしている土地を所有する者に対し、その維持管理経費の一部を助成する。	所有者をはじめ、広く市民の理解を得ながら、保存樹木・緑地保全地区の指定を継続するとともに、適正な管理を行う。	08 03	1,043	1,044	保存樹木・景観重要樹木・緑地保全地区の指定件数の合計(件)	1	自然環境との共生のための取組状況を表す	計画	60	60	
422103	多様な生物の生息・生育に配慮した環境整備とネットワーク化	生物多様性の充実を図るため、生き物の回廊(コリドー)となる公園緑地等の環境整備を進める。	昆陽池・瑞ヶ池・緑ヶ丘の各公園を核とし、猪名川・武庫川をつなぐ緑地・公園等の生物多様性に配慮した管理を充実することで生態系ネットワークの形成を図る。	瑞ヶ池公園内の「猪名の笹原モデル園」において市民協働による維持管理を実施する。	08 03	3,841	500	環境整備に取り組んだ箇所数(箇所)	1	生物多様性に配慮した環境整備状況を表す。	計画	1	1	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	4,884	1,544

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生	主要施策	自然環境との共生	評価部局	市民自治部	関連部局
施策コード	4222	施策名	市民による自然環境の保全と再生					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	施策の方向性	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
的	平成28年度 目指すべき姿	重点化	① 市民団体の年間活動延人数(%) *H26実績を100%とする	↑	自然環境の保全と再生に取り組む各市民団体の年間活動人数。市民団体の取り組み状況を表す。	目標	105	110	115	120	125
			② 事業者の年間活動延人数(%) *H26実績を100%とする	↑	自然環境の保全と再生に取り組む各事業者の年間活動人数。事業者の取り組み状況を表す。	目標	105	110	115	120	125
			③ 昆虫館入館者数(人)	↑	年度毎の昆虫館入館者数。自然環境の保全と再生に関心を持つ市民の関心度合いを表す。	目標	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
						実績	100				
						実績	100				
						実績	134,603				

事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況				重点新規				
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27	H28		
手 段	422201 市民による自然環境再生事業	市内に残る自然環境の保全と再生をはかり、自然環境と共生する良好なまちづくりを目指す。	・都市公園等において市民協働のもと、植生等の保全・再生を行う。	昆陽池公園内の樹林地等の適正な管理を継続する。	08	1,036	1,018	活動に取り組む市民団体と事業者の年間活動延人数(講座参加者数を含む)	1	自然環境の保全と再生に向けた市民団体と事業者の取組状況を表す	計画	800	900		
					03										
	422202 貴重種の保護管理と移入種等対策	・移入種等の個体を適正管理することにより、都市公園内の生態系を保全する。 ・絶滅危惧種の保全・再生を行い、生物多様性に配慮した都市公園の維持管理を行う。	ホタル、オニバス、デンジソウなど貴重な動植物の保護育成を市民活動を中心として実施する。 あわせて、生態系に悪影響を及ぼす移入種等の対策も検討する。	市民団体との協働でホタル、オニバス、デンジソウの保護育成に取り組むとともに、外来種対策として市民参加型調査結果を受けて、アカミミガメの捕獲調査の実施を検討する。	08	500	500	保護管理を行っている貴重種の種類数(種)	1	良好な自然環境の保全と再生の状況を表す	計画	10	10		
					03										
	422204 昆虫館施設整備事業	来館者の安全および快適な利用を維持していくため	昆虫館の計画的施設整備事業	昆虫館の計画的施設整備事業	チョウ温室等の施設改修	08	15,520	193,000	進捗率(%)	=	工事の進捗率	計画	-	100	重点
						03									
	422205 昆虫館運営事業	昆虫館施設の適切な維持管理と展示学習等の充実を図り社会教育施設としての魅力を向上させる。	伊丹市昆虫館を指定管理により、管理・運営する。	伊丹市昆虫館を指定管理により、管理・運営する。	伊丹市昆虫館の適切な管理運営を継続するとともに、生物多様性支援拠点として、展示や講座などを通じて、生物多様性への関心を高めていく。	08	133,190	127,939	昆虫館の年間入館者数(人)	1	自然環境の保全と再生に関心を持つ市民の状況を表す。	計画	144,000	144,000	
03															
422206 地域産苗木等の栽培及び配布事業<上位施策変更:旧4213>	緑化木を配布することで街角における生物多様性空間の創出を図る。	みどりの基本計画並びに生物多様性いたみ戦略において、推奨する緑化木を選定、市民による苗木の栽培生産・配布事業を進める。	地域産苗木の市民配布を開始する。	市民参加による自然調査を継続する。 対象生物:チョウ 調査期間は4月~3月までの1年間	08	279	279	生産した地域産苗木の数(本)	1	生物多様性の保全・再生への取り組みを表す。	計画	500	500		
					03										
422207 市民参加型自然調査事業<上位施策変更:旧4213>	市民に広く、生物多様性への理解を深める啓発事業の一環として実施する。	生物多様性いたみ戦略に基づき、市民が参加できる自然調査を企画・実施する。	市民参加による自然調査を継続する。 対象生物:チョウ 調査期間は4月~3月までの1年間	市民参加による自然調査を継続する。 対象生物:チョウ 調査期間は4月~3月までの1年間	08	157	90	調査の参加者数(人)	1	市民の身近な自然への関心度を表す。	計画	80	80		
					03										

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	150,682	322,826

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	計画的なまちづくりの推進	評価部局	都市活力部	関連部局	
施策コード	4311	施策名	都市計画マスタープランの推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	都市の持続的発展を計画的に誘導し、健康で文化的な都市生活や機能的な都市活動を円滑にするため、都市計画の基本的な方針として策定した都市計画マスタープラン(H23.03.14改定)に基づき、適正な土地利用等の誘導を図る。		成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
		平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 市民満足度	↑	市民意識調査における市の施策「計画的なまちづくり」の満足度(加重平均)	目標 3.27	3.29	3.31	3.33	3.35	
		地域地区の都市計画変更等を行い、適切な土地利用の誘導を図ることで、良好で持続可能な都市づくりを推進する。	取組維持	②			目標					
	③					目標						

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
431101	適切な地域地区の指定	土地利用の変化や社会的ニーズ等に基づき、適切な地域地区の都市計画変更を行う。	用途地域や生産緑地地区などの都市計画変更手続きの実施	・生産緑地地区の都市計画変更を行う。 ・用途地域の都市計画変更素案を作成する。	08 03	581	426	都市計画手続き件数(件)	=	用途地域や生産緑地地区などの都市計画決定、変更件数	計画	6	2	
431102	都市計画基本図の管理	最新の都市計画基本図を用いて、適時、適切な都市計画の見直しを実施し、良好な都市計画行政を推進する。	・都市計画決定に必要な地形図を、概ね5年毎に修正する。 ・用途地域や都市施設の都市計画変更にあわせ、都市計画総括図を修正する。	・地形図及び都市計画変更に伴う都市計画総括図の修正を行う。 ・電子国土Webシステム等を活用し、都市計画情報の発信を行う。	08 03	531	13,874	地図修正作業件数(件)	=	都市計画総括図等の修正作業件数	計画	1	2	
431103	都市計画関係事務の実施	各種法令に定められた手続きや事務を適正且つ、円滑に処理し運用することにより、良好で持続可能な都市づくりを推進する。	・都市計画基礎調査 ・生産緑地法に基づく事務 ・風致地区内の建築許可等 ・地区計画区域内の建築行為の届出の受理等 ・国土利用計画法(国土法)及び公有地の拡大の推進に関する法律(公拡法)に基づく届出の受理等	・都市の現状、都市化の動向等について状況を把握するため都市計画基礎調査を実施する。 ・地区計画、風致地区内の建築行為に対して指導等を行うことにより、良好なまちづくりを進める。	- -	0	0	届出等件数(件)	評価対象外	生産緑地、地区計画、国土法、公拡法、都市計画法に係る届出等の件数	計画	121	109	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	1,112	14,300

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	計画的なまちづくりの推進	評価部局	健康福祉部	関連部局	都市活力部
施策コード	4313	施策名	住生活基本計画の推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	住生活基本計画に基づく事業の展開により住宅ストックの有効活用を推進するとともに、既存市営住宅の適切な維持管理を行い、すべての人が暮らしやすい良好な住環境整備の実現を図る。	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 市営住宅入居率(%)	↑	算式は、入居戸数/管理戸数	目標 100	100	100	100	100	100
						実績 93.5					
重点化	市営住宅の管理について、指定管理者による適切な維持管理及び利用者サービス向上を図り、計画修繕等により建物の長寿命化を図る。また、民間賃貸住宅の借上げによる活用や廃止を定めた行基・若松団地の住替え支援など住宅ストックの効率的かつ効果的な活用に取り組み、良好な住環境の実現を図る。		② 高齢者向け住宅整備率(%)	↑	算式は、改善住宅戸数/整備必要戸数	目標 39.6	40.4	41.2	42	42.8	
						実績 37.98					
			③ 市営住宅家賃、駐車場使用料現年度の徴収率(%)	↑	算式は、現年度収納額/現年度調定額	目標 96.9	97	97.1	97.2	97.3	
						実績 96.8					

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
手段	431301 市営住宅等管理事務	適宜適切な維持管理を行い、良好な市営住宅を提供する。	修繕、設備点検を始めとする市営住宅の維持管理にかかる業務を実施する。	指定管理者による管理において、適切な指示・連携によりサービスの維持向上を図り、利用者アンケートにおいて、高い満足度を得るとともに、使用料の収納率の向上を図る。	08 04	168,977	172,072	管理戸数(戸)	=	市営住宅等の管理戸数	計画	2,203	2,203	
	431302 若年世帯等家賃支援事業	若年・子育て層への家賃の支援により、次世代の育成支援、活力あるまちづくり推進する。	市民特別賃貸住宅に入居する若年・子育て世帯に対し、家賃の一部を支援する。	若年・子育て世帯からの収入報告に基づき対象世帯に対し適正な家賃支援を行う。	08 04	55,647	22,398	若年・子育て世帯入居戸数(戸)	=	伊丹市市民特別賃貸住宅の若年・子育て世帯入居戸数(戸)	計画	164	95	計注
	431303 分譲マンションバリアフリー化推進事業	バリアフリー整備を推進し、市民が暮らしやすい住環境の実現を図る。	分譲マンションの管理組合に、バリアフリー改修に伴う費用の1/3を助成する。	バリアフリーを促進するために、市内の分譲マンションの管理組合に対して広報誌等で周知を行う。	08 04	1,332	1,332	助成棟数(棟)	=	バリアフリー化工事費の一部を助成する民間分譲マンション棟数	計画	4	4	計注
	431305 分譲マンション管理セミナー事業	管理運営上の様々な課題に対し、その解消の一助として情報提供等を行なう。	分譲マンションの管理組合や居住者に対し、マンション管理に関するセミナーを実施する。	分譲マンションの管理組合や居住者に対し、管理運営上の様々な課題の解消の一助として、セミナーを年1回以上実施及び情報提供等を行う。	08 04	62	50	セミナー等開催回数(回)	=	分譲マンションの管理組合等に対する管理セミナー・相談会の開催回数	計画	1	1	計注
	431306 民間賃貸住宅ストック活用事業	市内にある優良な空家を活用し、優良な市営住宅を供給する。	市営住宅整備基準に適した優良な民間賃貸住宅の空家を借り上げる。	効果的な事業の周知を行い借上目標数を確保する。	08 04	30,579	30,579	新規借上げ市営住宅戸数(戸)	=	民間賃貸住宅の新規借上げ市営住宅戸数	計画	34	34	計注
	431307 市営住宅ストック活用事業	良好な住宅を維持し、一定数の市営住宅を提供する。	活用計画に基づき、市営住宅の維持管理・長寿命化に資する改善を行う。	実施計画に基づき、市営住宅等の維持管理工事を実施する改善を行う。	08 04	15,100	115,792	工事対象団地棟数(棟)	評価対象外	市営住宅ストック改善工事的対象団地棟数	計画	5	6	重点

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等			H27	H28
手 段	431308	市営住宅ユニバーサル化事業	高齢者・障がい者等が、安心して生活できる環境づくりを行う。	既存市営住宅の1階住戸のバリアフリー化工事を行う。	実施計画に基づき、高齢者向け改造工事を実施する。	08 04	9,900	8,900	バリアフリー工事戸数(戸)	=	市営住宅の1階住戸のバリアフリー化工事戸数	計画	2	2	
	431311	住生活基本計画の策定	住宅政策の方向性を定め、市民の住環境の安定確保・向上を図る。	住生活基本法に基づき、国・県の計画や地域特性を踏まえ、次期伊丹市住生活基本計画を策定する。	次年度以降実施予定(H29に、国・県の計画や本市における現状や課題を踏まえて住生活基本計画の策定を行う。)	- -	-	-		-		計画	-	-	
	431312	転入促進事業	・同居・近居することで、高齢者の孤立防止及び子育てや介護等の自助、共助を推進及び親子(・孫)の絆再生・強化 ・本市への人口流入と定住化の促進	市内在住の親元に同居もしくは近居する40歳未満の若者世帯(単身世帯除く)に対し、住宅取得等もしくは賃貸住宅入居に要する費用の1/2を補助(上限あり)	若者世帯(単身世帯除く)の定住促進	08 03	-	25,000	転入促進事業による転入人員数(人)	+	転入促進事業による転入人員数	計画	-	300	新規

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
		281,597

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち		施策目標	良質な都市空間の整備		主要施策	計画的なまちづくりの推進		評価 部局	都市活力部	関連 部局
施策コード	4314	施策名	地域や市民主体の良好なまちづくり								

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	良好な住環境の整備・保全やまちなみ景観の形成を図るため、住民が主体となって地区の特性や実情に応じたきめ細やかなまちづくりを推進し、魅力ある都市づくりを推進する。また、開発指導、建築指導により快適な都市環境を創出する。		成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
		平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 都市計画制度の普及・啓発活動実施回数(回)	↑	都市計画情報(地区計画等)提供の回数	目標 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
		開発指導、建築指導により、無秩序な開発の防止と公共及び公益的施設の整備を促進し、地区の特性や実情に応じた都市づくりを実現する。	重点化	② 建築確認に伴う完了検査実施率(%)	↑	完了検査実施件数/確認済証交付件数(抽出件数(4月~6月))	目標 実績	100 89	100	100	100	100

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28
	431401	指定道路図等作成事務	道路に関する情報を「指定道路図」「指定道路調書」で情報提供を行う	道路の位置・種類等を明示した台帳(「指定道路図」「指定道路調書」)整備	既に窓口にて公開している道路案内図をデジタル化し指定道路図として整備する。指定道路調書を調製するためのシステムを構築する。	08 03	0	0	指定道路図・調書の作成率(%)	評価対象外	指定道路図の作成・指定道路調書の作成割合の累計	計画	50	10
	431402	開発許可事務	都市の無秩序な開発の防止と、公共及び公益的施設の整備促進により、良好な都市環境の形成を図る。	都市計画法第29条に基づく開発許可に関する事務	都市計画法に基づき、良好な都市環境の形成を促すため、開発指導等を行う。	— —	0	0	申請件数(件)	評価対象外	申請件数	計画	9	13
	431403	開発指導事務	秩序ある開発を期し、良好な都市環境の整備を図るため、開発事業者に対し、一定の規程による負担と協力を要請することにより、公共及び公益的施設の整備促進を図り、もって「住みよいまちづくり」の実現を図る。	「伊丹市宅地開発等指導要綱」に基づく事務	秩序ある開発を促すため、開発行為に対する指導等を行う。	— —	0	0	申請件数(件)	評価対象外	申請件数	計画	160	163
	431404	中高層建築物指導事務	建築物による騒音、電波障害、その他の住環境に関する紛争を未然に防止する。	「伊丹市中高層建築物の建築に関する指導要綱」に基づく事務	住環境に関する紛争を未然に防止するため該当建築物の新築に対し、事前公開、調整を促す。	— —	0	0	申請件数(件)	評価対象外	申請件数	計画	14	15
	431405	道路位置指定事務	建築物の敷地に関する、最低限の基準を定め、国民の生命、健康及び財産の保護を守り、もって公共の福祉の増進に資する。	建築基準法第42条第1項第5号に規定する道路の位置指定に関する事務	市民にとって建築基準法第42条第1項第5号に規定する道路の性質をわかりやすいものとするため、道路位置指定申請の手引き等を活用し、基準等の周知を行う。	— —	0	0	申請件数(件)	評価対象外	申請件数	計画	16	14
	431406	建築確認・検査事務	建築基準法施行による良好なまちづくり	確認申請はじめ、建築行為に関する法律・条例に基づく審査・検査等事務	近年行われている法改正等に対応し、ホームページの情報更新を行い、啓発に努める。	— —	0	0	建築確認完了検査実施率(%)	=	完了検査実施件数/確認済証交付件数(4月~6月抽出件数)	計画	100	100

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規			
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等			H27	H28	
手 取	431407	建築許可・認可等事務	建築基準法の規定による許認可及び防災指導等に関する事務	相談の多い許認可事務の円滑化と市民サービス向上のため、書類の整理を進める	08	893	780	建築審査会の開催回数(回)	=	建築審査会の開催回数	計画		4		
					03										
	431408	地区計画の推進とまちづくり活動支援	・住環境に特化した住民主体のまちづくりを支援 ・地区の特性や実情に応じたきめ細やかなルールによる魅力ある地域や都市づくりを実現	都市計画法や建築基準法を補完する地区計画等を活用したまちづくりの普及と啓発。	地区計画制度等について相談のあった地区住民の普及啓発を図る。	08	12	12	都市計画制度の普及、啓発活動実施回数	=	都市計画情報(地区計画等)提供の回数	計画	1	1	
						03									
	431410	空家等除却支援事業	危険な状態にある空き家に対し、除却費用を一部補助することにより、居住環境の整備改善及び地域の活性化を図る	危険な状態にある空き家所有者に対して、国・県・市合わせて最大1,332千円の補助を行う	危険な状態にある空き家の解消(目標2件)	08	-	2,664	特定空家等除却補助件数(件)	+	除却補助件数	計画	-	2	創 規
						03									
	431411	空家等対策推進事業	・伊丹市空家等対策計画等について、市民に対し周知啓発を図る ・市内の空家等を地図・状況等をデータ管理し、的確な対応を図る	・空家等対策計画等に関するパンフレット作成及びセミナー開催 ・空家等の情報を地図上で継続的かつ一括的に適宜更新・管理するため、データベースを構築する	平成28年度中にパンフレットを作成し、市民等へ配布する。市民を対象にセミナーを開催する。	08	-	241	セミナー開催回数(回)	=	セミナー開催回数	計画	-	1	創 規
						03									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	905	3,697

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	美しい都市景観の形成	評価部局	都市活力部	関連部局
施策コード	4321	施策名	美しい都市景観の創出					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 美しい景観を創出 独自の屋外広告物条例を策定 市民主体の景観まちづくり活動を支援 		成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 景観計画区域内における行為の届出の内、基準に適合している割合(%)	→	基準に適合する届出件数/届出件数	目標	100	100	100	100	100	100
	<ul style="list-style-type: none"> 景観形成建築物の活用策について伊丹市都市景観審議会での答申や所有者アンケート結果等の基づき検討する。 屋外広告物等の適正な掲出を図るため、兵庫県等と連携しながら事業者への指導の徹底。 景観まちづくり団体と連携・協働し良好な景観形成に努める。 	取組維持	② 屋外広告物の2年間の新設・更新の申請件数(件)	→	有効期間が2年のため、2年間の総申請件数とする。※2年間(前年度+当該年度)例：H23=H22+H23、H24=H23+H24	目標	710	710	710	710	710	710
			③ 景観まちづくり活動団体数	→	市内で活動する景観まちづくり活動を行う市民団体数	目標	5	5	5	5	5	5

事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
432101	都市景観形成事業	・美しい都市景観の形成	・景観法・伊丹市都市景観条例に基づく届出受付 ・伊丹市景観計画に定める基準に基づくデザイン指導 ・景観形成助成金による重点区域での修景事業	・伊丹らしい景観形成を図るため、景観計画に規定した色彩基準や、景観形成基準等の指導を行なう。	08 03	5,367	3,959	景観計画区域内における行為の届出の内、基準に適合している割合(%)	=	色彩基準に適合し、景観形成基準に沿ったデザイン誘導した建築物などが増加するため。	計画	100	100	
432102	屋外広告物等対策事業	・まちなみに調和した良好な広告景観の誘導 ・屋外広告物の破損等防止による安全確保	・屋外広告物の許可申請 ・違反広告物の是正指導、撤去 ・路上違反広告物撤去推進員(ボランティア)の活動支援	・良好な景観形成を図るため、兵庫県や事業者等と連携・協力して屋外広告物の内容や申請事務の適正化を行う。	08 03	510	917	屋外広告物の2年間の新設・更新の申請件数(件)	評価対象外	2年間の総申請件数(有効期限が2年のため)	計画	450	710	
432103	地区景観形成協議会支援事業	・市民の自主的・持続的な景観形成の活動に取り組み	・景観まちづくり団体の活動支援	・景観まちづくり団体の活動支援と景観に対する市民の意識啓発を行なう。	08 03	2	13	景観まちづくり活動団体数	1	市内で活動する景観まちづくり活動を行う市民団体数	計画	6	5	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	5,879	4,889

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	交通ネットワークの充実および道路の整備	評価部局	都市交通部	関連部局	交通局
施策コード	4331	施策名	交通政策の促進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	公共交通機関の利用促進、道路交通機能の充実や自転車利用など、人と環境にやさしい交通体系の実現。	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26	H28	H29	H30	H31	H32
						(基準年度)					(最終)
目的	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 交通ネットワークの充実施策に満足している人の割合(%)	↑	「市民意識調査」で「交通ネットワークの充実」に、満足・やや満足と答えた人の割合(H27実績値「52.3」をもとに目標値を設定)	目標	53.3	54.3	55.3	56.3	57.3
			② 交通局営業収支率(%)	↑	(営業収益÷営業費用)×100 利用者の高齢化や人口減少を鑑み、基準年度(H26年度)値を下回ることのないよう、91.8%以上を目標値とする	目標	91.8	91.8	91.8	91.8	91.8
			③ 有責事故件数(件)	↓	主たる原因が交通局側にある事故件数	目標	35	33	31	29	27
	平成28年3月に策定予定の伊丹市総合交通計画に基づき、各種交通施策に取り組む。	重点化				実績	39				

手	段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規		
							款項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
																指標名
		433102	市バス車両更新	環境基準に適合し、誰もが安全・便利に乗降できる車両を配備して市バス利用の促進を図る。	バス車両の維持・更新費用の最小化を目指しつつ、計画的に老朽車両を更新する。	車両更新計画に基づき、バス8両の更新と8両の大規模整備を行う。	企業	164,264	200,800	超低床大型乗合車両購入台数(台)	=	環境への負荷を低減するため、最新のディーゼル規制に適合した低公害バス車両の導入を進める。	計画	7	8	
		433103	市バス停留所施設整備	お客様のバス待ち環境の向上に資する。	標柱、上屋やベンチを計画的に整備・更新する。	2箇所の上屋移設整備と1箇所の上屋新設整備を行う。 1箇所の収納式ベンチ設置を行う。 11箇所の移動標柱を埋込標柱へ移行する。	企業	742	3,806	停留所施設改善箇所数(箇所)	1	バス停留所上屋やベンチの設置などの整備・更新を計画的に進める。	計画	2	4	重点
		433104	交通事業経営健全化推進事業	市のまちづくり施策、交通政策と整合を図りながら交通事業の健全な運営を図る。	グリーン経営を軸に、安全・快適で信頼性の高いサービス提供と効率的な事業運営による経営基盤の強化に取り組む。	経営戦略・行動計画に則り、経営基盤の強化に取り組む。	企業	0	0	経営戦略(第3次アクションプラン)取組項目数(件)	1	経営戦略(第3次アクションプラン)主要項目への取組状況を示す指標	計画	-	14	重点
		433105	交通局施設整備	庁舎の耐震化と長寿命化	補強による耐震化と老朽箇所改修による長寿命化を実現する庁舎耐震化改修工事を実施する。	次年度以降実施する。	-	-	-	-	-	-	計画	-	-	
		433106	市バスサービス向上推進	市バス利用者の減少傾向に歯止めをかけ、安定した運賃収入を確保する。	バス事業者の最大使命である安全輸送を徹底し、快適で信頼性の高い旅客サービスを提供する。	安全運転研修の充実に取り組み、乗務員の意識向上と快適・安心なサービスの提供を図る。	企業	616	578	職員研修受講人数(人)	=	基本となる事業が職員研修のため、年間の受講人数を活動指標とする。	計画	60	60	重点
		433107	交通事業会計補助	・市民の移動手段の確保と環境への配慮の観点から、人と環境にやさしい地域公共交通としての充実を図る。 ・地方公営企業の健全化に資する。	・市バスの不採算公共路線、生活維持路線に対する補助 ・超低床バス購入に対する補助 ・共済追加費用、基礎年金拠出金、児童手当特例給付に対する補助	・左記の補助を実施するとともに、新たな補助基準の導入を検討する。	13 02	185,136 268,713	補助金額(千円)	評価対象外	-	-	計画	185,136 268,713		

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27		H28
433109	交通モビリティシステム研究	中心市街地での回遊性向上によるさらなる賑わいづくり	複数の人が乗車できるよう改良した自転車を用いたタクシー等、機動性や環境性の高い新たな移動手段の導入・整備等を研究する	次年度以降実施予定	-	-	-							
					-	-	-							
433110	バスロケーションシステム整備事業	バスロケーションシステムによるバス利用者の利便性向上および環境負荷の少ない乗り合いバスの利用促進	・民間バス事業者へのシステム整備に関する補助 ・市バスでのシステム整備の検討・実施	・民間バス事業者へのバスロケーションシステム導入に伴う事業費の補助を行う	08	-	957	市内バスロケーションシステム導入事業者数(者)	=	市内においてバスロケーションシステムを導入しているバス事業者の数	計画	-	2	新規
					03									
433111	総合交通計画推進協議会	・多様なニーズに対応した質の高い交通基盤の整備や、様々な課題に対応した伊丹市にふさわしい交通体系の実現	・協議会を開催し、総合交通計画に基づく施策の進捗状況や施策の効果、新たな地域課題および対応策を、市民、交通事業者等の関係機関と共有する	・協議会を立ち上げ、市民、関係機関との情報共有を行う。	08	-	101	協議会開催回数(回)	=	総合交通計画推進協議会の開催回数	計画	-	1	新規
					03									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	350,758	474,955

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	交通ネットワークの充実および道路の整備	評価部局	都市交通部	関連部局	
施策コード	4332	施策名	都市計画道路の整備			評価部局	都市交通部	関連部局	

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	多様な都市活動の支援や良好な市街地形成を誘導するため、交通の円滑化を促進し交通利便性を向上させます。		成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	①	都市計画道路事業進捗率(%)	↑	整備事業進捗率(各年度累計事業費÷後期5カ年事業費)	目標	11	12	35	61	100
	市施行街路(猪名川左岸線)及び県施行街路(尼崎宝塚線)の完成、都市計画道路ネットワークの構築を図る。	取組維持	②	県施行街路負担金の事業進捗率(%)	↑	県施行街路に対する市の負担金の事業進捗率(各年度累計負担金÷後期5カ年負担金)	目標	50	52	64	83	100

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
433202	都市計画道路整備事業 (433201を統合)	都市計画法に基づき、安全面や防災面、景観などを総合的に考慮して、市内道路のネットワーク構築のため、未整備区間の事業推進を図る。	都市計画道路整備プログラム(平成27年度～35年度)に沿って、未整備区間を整備する。	平成29年3月までに、都市計画道路猪名川左岸線の整備促進を図り、事業完了させる。	08	250,400	205,664	都市計画道路事業進捗率(%)	1	整備事業進捗率(各年度累計事業費÷後期5カ年事業費)	計画	100	11	
					03									
433203	県施行街路負担金	兵庫県が施行する街路事業費の一部を負担し、交通の円滑化や主要な幹線道路のネットワーク構築のため、未整備区間の事業推進を図る。	兵庫県阪神北地域社会基盤整備プログラム(平成26年度～35年度)に沿って、未整備区間を整備する。	平成29年3月までに、兵庫県が施行する都市計画道路尼崎宝塚線を完了させるために、街路事業費の一部を負担する。	08	230,000	148,340	県施行街路負担金の事業進捗率(%)	1	県施行街路に対する市の負担金の事業進捗率(各年度累計負担金÷後期5カ年負担金)	計画	100	54	
					03									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	480,400	354,004

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち	施策目標	良質な都市空間の整備	主要施策	交通ネットワークの充実および道路の整備	評価部局	都市交通部	関連部局
施策コード	4333	施策名	安全で快適な道路空間の確保					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	すべての市民が、常に安全で安心して利用できる良好な道路空間を確保するとともに、交通の安全かつ円滑な通行を図ります。	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	①	生活道路事業進捗率(%)	↑	生活道路(細街路・狭あい道路・その他の道路)の整備事業進捗率(各年度累計事業費÷後期5カ年事業費)	23	46	59	70	100
	<ul style="list-style-type: none"> ・昆陽5429号線の完成、昆陽南土地区画整理地区と県道寺本伊丹線を結び、地区の交通円滑化を図る。 ・自転車ネットワーク路線の整備を推進する。 ・適正な維持管理により安全な通行空間を確保する。 	重点化	②	自転車レーン等整備区間延長(km)	↑	自転車レーン等を整備した区間の総延長	3.6	5.9	6.4	6.9	7.3
③			補修工事実施橋りょう数(橋)	↑	橋りょう長寿命化計画に基づき補修工事を実施した各年度ごとの橋りょう数	29	33	30	1	22	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規			
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28		
手 段	433301	市道等境界明示事業	市道及び法定外公共物(里道・水路)と民有地との境界確定を行い適正な公物管理を目指す。	土地所有者からの申請に基づき、市道及び法定外公共物(里道・水路)と民有地との官民有地境界協定を行う。	継続して実施する。	08	415	356	申請件数(件)	=	官民境界明示に関する申請件数	計画	194	198	
	433302	法定外公共物維持管理事業	法定外公共物(里道・水路)の適切な維持管理を図る。	法定外公共物の諸データをシステム管理し、適正な維持管理と業務の効率化に取り組む。	平成27年度末に稼働させる新法定外公共物管理システムの操作に直ちに習熟する。	08	1,261	1,525	保守・点検回数(回)	=	法定外公共物維持管理システム保守・点検回数1回/年	計画	1	1	
	433303	地籍調査事業	土地境界をめぐる問題の解消に向け地籍の明確化を図るため調査を推進する。	調査地区において土地所有者との同意に基づき境界を測量し、調査図、地籍境界調査票等を作成する。	伊丹市荻野7、8丁目の一部地区を対象に地籍調査(官民境界等先行調査)を行う。	02	8,000	7,720	地籍調査実施面積(ha)	=	地籍調査実施面積(ha)/年	計画	10.8	10.2	
	433304	道路維持管理業務	道路の適正な維持管理を行い、市民の安全と快適な道路空間の確保を図る	道路の補修や清掃、街路樹などの適正な維持管理を行い、安全で快適な道路環境の確保を行う	継続して道路施設の現状把握に努め、補修等が必要な箇所については、迅速に対応し、適正な維持管理を行う	08	165,560	152,715	維持補修件数(件)	評価対象外		計画	-	-	
	433305	道路実態調査事業	道路法の規定に基づき道路台帳図面及び調書に修正を加え道路の適正な管理を図る。	道路台帳図面に新設及び拡幅、改良等の整備箇所の修正を行い、各種調書を修正する。	継続して実施する。	08	6,810	5,988	道路台帳図面修正距離(km)	=	道路台帳図面修正距離(km)	計画	-	4	
	433306	生活道路(細街路・狭あい道路・その他の道路)の整備事業(433310を統合)	市民生活に密接した狭あい道路等の改善を行い、防災面や安全面の確保を図る。	生活道路の拡幅、交差点の改良、狭あい道路等の整備により、防災面や安全面の確保を行う。	平成29年3月までに、昆陽5429号線の整備促進を図り、事業完了させる。 平成29年3月までに、昆陽池千僧線の整備促進を図り、事業完了させる。	08	212,899	375,987	生活道路事業進捗率(%)	↑	生活道路(細街路・狭あい道路・その他の道路)の整備事業進捗率(各年度累計事業費÷後期5カ年事業費)	計画	100	27	重点
	433307	道路維持補修事業	道路の適正な補修を行い、良好な道路環境の維持、確保を図る	良好で安全な道路を維持するため、舗装など道路施設の改修工事を行う	円滑に関係機関と協議を行い、早期に工事を完成させる	08	33,350	60,000	整備箇所(箇所)	=	舗装等の改修工事を実施した各年度ごとの箇所数	計画	6	17	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規			
					項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等			H27	H28	
手 段	433308	道路安全対策事業	道路の安全施設の整備に努め、市民の安全確保を図る	転落防止柵の更新等、安全対策工事を行う	円滑に係保機関と協議を行い、早期に工事を完成させる	08 02	33,300	33,000	整備箇所(箇所)	=	転落防止柵の更新等、安全対策工事を実施した各年度ごとの箇所数	計画	-	10	重点
	433309	街路灯整備事業	夜間通行の安全確保を図る	街路灯の新設を行う	夜間の現場状況把握に努め、必要に応じて街路灯の新設を行う	08 02	10,800	8,665	街路灯新設灯数(灯)	評価対象外	-	計画	-	-	
	433312	橋梁長寿命化事業	長寿命化計画に基づき、計画的に修繕を行い、橋りょうの安全性・信頼性を確保するとともに、維持管理費用の平準化及びコスト縮減を図る	長寿命化計画に基づき、計画的に修繕に取り組む	・計画した橋りょうの点検、補修設計、補修工事の早期完成を目指す ・橋りょうの耐震診断を行い、耐震補強の必要な橋りょうの選定を行う	08 02	101,600	129,350	長寿命化計画に基づく、補修対策橋梁数(橋)	=	補修工事を実施した各年度ごとの橋りょう数	計画	4	29	重点
	433313	道路安全対策事業(自転車レーン等)	歩行者・自転車が安全で快適に利用できる通行空間の創出	歩行者と自転車の通行部分を明確に分離し、双方の安全性を確保するため、自転車レーンや歩道内での自転車通行帯を整備する	整備済路線との連続性を考慮した自転車通行空間の整備工事を行い、自転車ネットワーク路線の形成を図る	08 02	19,000	6,200	自転車レーン等整備区間延長(km)	1	自転車レーン等を整備した各年度ごとの区間延長	計画	-	0.4	重点
	433314	道路施設定期点検(トンネル、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等)(名称変更前:道路ストック総点検事業)	道路施設の定期的な点検による現状把握と点検結果に基づいた的確な修繕により、安全・安心な道路空間を確保する。	伊丹市が管理する道路施設について近接目視による点検を行う。	次年度以降実施予定	-	-	-	-	-	-	計画	-	-	
	433415	ストリートファニチャー等整備事業	他の人の通行を妨げることなく休憩や交流ができることで、歩くことが楽しく、人が集う安全で快適な歩行空間の創出	省スペースでシンプルなベンチや日よけ、ウォーキングコースにおける案内表示等を設置する	次年度以降実施予定	-	-	-	-	-	-	計画	-	-	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	592,995	781,506

政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち		施策目標	良質な都市空間の整備		主要施策	交通ネットワークの充実および道路の整備		評価部局	都市交通部	関連部局
施策コード	4334	施策名	違法駐車・駐輪対策の推進								

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	放置自転車等の防止に係る施策を総合的に推進し、駅周辺の放置自転車等の減少と、災害時の避難路確保及び、まちの美観の維持を目指す。		成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿		施策の方向性	① 放置自転車等台数(台)	↓	自転車等放置禁止区域内における特定日の放置自転車等の台数	目標 580	340	320	300	300	
					実績	919						
重点化	駅周辺の放置自転車等の台数を減少させるため、利便性の高い自転車駐車場の整備を図るとともに、駐輪指導および放置自転車等の撤去を強化し、放置されにくい環境を創出する。			② 年間の自転車駐車場利用台数(1日平均)(台)	↑	鉄道駅周辺の市営自転車駐車場の年間の自転車駐車場の利用台数(1日平均)	目標	6,286	6,348	6,411	6,475	6,539
							実績	6,224				
				③ 中心市街地路上駐車台数(台)	↓	中心市街地の一部地域における特定日の違法駐車台数	目標	30	29	29	28	28
							実績	30				

事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規	
					款	項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27
手段	433401 中心市街地駐車場事業	・中心市街地における駐車場の確保 ・路上駐車の排除 ・円滑な道路交通と安全の確保	①宮ノ前地区地下駐車場の管理運営 ②JR伊丹駅前駐車場の管理運営 ③アリオ地下駐車場の管理運営 <参考> 平成28年度の一般会計化に伴い、平成27年度に累積赤字額を精算したため、平成28年度と平成27年度の事業費に乖離が生じている。	指定管理者と協議しながら、3駐車場の利用者の利便性を高め、年間利用台数を前年度比1%向上させる。	08		年間利用台数(台)	1	-	計画	310,000	326,293	
					03	961,986							
	433404 自転車駐車場管理運営事業	・良好な自転車利用環境の整備	市営9自転車駐車場の管理運営	・阪急伊丹駅前地下、西台の各自自転車駐車場について上半期中にバイコレーターの更新を行う。 ・指定管理者と協議しながら、利用者の利便性を高め、年間の自転車駐車場利用台数(1日平均)を6,286台へ向上させる。	02		自転車駐車場利用台数(台)	1		計画	-	6,286	重点
					01	143,423							
433405 放置自転車撤去事業(433403を統合)	・駅周辺の放置自転車等の排除 ・良好な生活環境の保持 ・街の美観の維持 ・交通の安全及び災害時における防災活動の確保	①放置自転車の撤去 ②駐輪指導員による駐輪指導 ③公募型協働事業による駐輪指導 ④藤ノ木自転車保管返還所の管理運営	放置自転車撤去について、夜間撤去の実施等時間帯をランダムにし、自転車等放置禁止区域内における放置自転車等の台数を580台以下とする。	02		放置自転車台数(台)	1		計画	-	580	重点	
				01	36,359								37,987
433406 地域通貨制度事業(名称変更前「駐輪対策を起点とした地域通貨制度創設事業」)	・中心市街地の放置自転車対策と地域経済活性化の両立を図る。	・市営自転車駐車場等を利用することで、市内店舗での買物等に使用可能なポイントを付与する。	・制度開始当初からのポイント発行額を勘案し、市営自転車駐車場の利用者数及びポイント発行額を増やす。	02	18,630	5,071	市営自転車駐車場におけるポイント発行額(千円)	1	計画	3,863	3,775	重点	

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等			H27	H28
	433407	駐輪施設等整備事業	・自転車利用者の利便性向上 および放置自転車の減少	・鉄道駅周辺における駐輪施設 等の整備	・鉄道駅周辺において、機械式 の駐輪施設を整備する。	02	-	115,735	各事業の平均進捗率 (%)	=	各駐輪施設等整備事業 の進捗率の平均	計画	-	50	新規
						01									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
		1,160,398